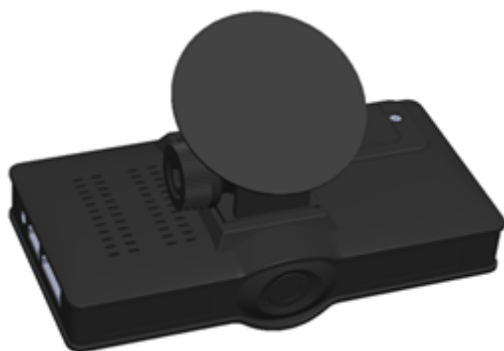


ER2

ER2 取扱説明書



この度は、ER2 をご利用頂きましてありがとうございます。本製品のご使用前に、本取扱説明書の記載事項をご確認ください。また、必要な時にご確認いただけるように大切に保管してください。

目次

1. 安全上のご注意
2. 使用上のご注意
3. 内容物の説明
4. 各部の名称
5. 専用 SD カードの装着方法および注意点
6. 配線図と取り付け方法
7. サブカメラ（オプション）について
8. 設定方法
9. データ閲覧の方法
10. 本体ボタンの操作方法
11. ドライバーズカードの読み取り方法
12. 動画記録時間
13. 故障かなと思ったら
14. よくある質問
15. アフターサービス
16. 製品仕様・外形図
17. 技術基準適合証明

本書は予告無く変更する事があります。

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

ご利用にあたって、特に遵守頂きたい内容をご説明しています。

本文中に使用されている図記号の意味



警告

死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

重傷を負うまたは物的損害が生じる可能性があるもの。



この行為は禁止されています。



この行為は注意が必要です。



この行為を必ず実施してください。

注意

安全上のご注意を遵守頂けなかった事によって生じた人的および物的被害については、弊社にて責任を負いかねます。



危険

運転者は走行中に操作しない、注視しない。



運転中にボタンの操作、SD カードの出し入れをしないでください。また、運転中は画面の表示を注視しないでください。事故やけがの原因になります。
操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。

エアバッグのカバー部分、動作の妨げになる場所に取り付けけない



エアバッグのカバー部分や、動作時にエアバッグに当たる恐れのある場所には取り付けしないでください。エアバッグ動作時に衝撃で本製品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

運転や視界の妨げになる場所に取り付けけない。



前方・後方の視界の妨げになる場所へは絶対に取り付けけないでください。事故やけがの原因になります。

専用ケーブルの配線



専用ケーブルは運転の妨げとならないよう、必ず止め具で固定してください。余った専用ケーブルはシート下に収めるなどしてください。専用ケーブルに傷をつけたりますと、断線や、ショートによる火災や感電の恐れがあります。

専用ケーブルは、運転や乗り降りの妨げにならないよう配線する



専用ケーブルはアクセルペダル・ブレーキペダル・クラッチペダル・シフトレバー・足等に巻き付かない様に引き回し、まとめて固定ください。

アルコール、シンナー、ベンジンなどの引火性溶剤は使用しない



火災の原因になります。また、変形や変質、破損の原因になります。



警告

故障や異常のまま使用しない



万一本製品に故障や異常（異物が入った・煙が出る・異臭がする等）が発生した場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店に相談してください。そのまま使用を続けると、事故や火災や感電の原因になります。

分解・修理・改造をしない。



分解・修理、コードの被覆を切って他の機器の電源を取る事はやめてください。火災・感電、故障の原因になります。修理が必要な場合は、必ず本説明書末尾の連絡先にご依頼ください。

湿気が多いときは、車内での取り付けはしない



粘着力が弱くなり、走行中に剥れる危険性があります。

外れて落下しないように、しっかり取り付ける



ネジがゆるい、固定が弱い場合、走行中に本製品が外れて落下する危険があります。事故やけがの原因になります。

水中で使用しない



本製品は防水機器ではありません。水中では使用出来ません。故障の原因になります。

コードを破損しない



コードを挟んだり切ったりしないでください。断線やショートにより、火災・感電、故障の原因になる事があります。

凹凸のある部分に取付けない



ステッカーやフィルム、ガラスの傷など凹凸がある部分には取り付けないでください。落下する恐れがあります。

フロントガラスを拭き、油分や水分を取り除いてから設置する



特に水滴は接着剤の性能を劣化させますので注意してください。(粘着力が弱くなり、走行中に剥れる危険性があります)

火中に投じない、加熱しない



液漏れや爆発の原因になります。

本体の取り付けには付属の部品を使用する



本体の取り付けは、必ず付属のブラケットをご使用ください。他の物を使用すると、落下等により事故やけがの原因になります。

車内のボルトやナットを使用してサブカメラを取り付ける場合、保安部品のボルトやナットは使用しない



本体保安部品を使用すると、制御不能や発火の原因になります。

車体に穴をあけてサブカメラを取り付ける場合は、細心の注意を払って作業する



車体に穴をあけてサブカメラを取り付ける場合は、パイル類やタンク、電気配線などの位置を確認の上、干渉や接触する事が無いよう注意してください。火災の原因となります。

水に濡らさない。濡れた手でさわらない



水に濡らす、濡れた手で触らないでください。感電、故障の原因となる事があります。また、洗車のときは必ず本体を取り外し、水や洗剤などがかからないようにしてください。本製品が故障する恐れがあります。

SD カードスロットへ、メモ리카ード以外のものを入れない



本製品が破損する恐れや、火災・感電の原因となります。

本説明書で指定された通りに接続する



本説明書に記載されている内容以外の接続を行った場合、火災や事故の原因となる事があります。

エンジンをかけた状態で取り付けない



必ず車のエンジンを切った状態で本製品の取り付けを行ってください。エンジンをかけたままでは取り付けすると、故障の原因になります。

電源が入った状態で SD カードの抜き挿しをしない



必ず車のエンジンを切って、本体の電源がシャットダウンしている状態で、SD カードの抜き挿しを行ってください。それ以外の場合は、故障の原因になります。

DC12～24V マイナスアース車以外で使用しない



本製品は DC12～24V マイナスアース車専用機器です。それ以外での自動車では使用しないでください。

長時間電源を供給しない



車両から長時間離れる場合は、必ずエンジンを切って電源供給を断ってください。

ヒューズを交換する時は必ず規定容量のヒューズを使用する



規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

電源が入った状態で外部機器の取り付け、取り外しをしない



必ず車のエンジンを切って、本体の電源がシャットダウンしている状態で「サブカメラ」「GPS 外部アンテナ」その他外部機器の取り付けおよび取り外しを行ってください。それ以外の場合は、故障の原因になります。

専用ケーブル以外を使用しない



本製品と自動車との接続には、必ず付属の専用電源ケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると、火災や故障の原因になります。

使用しなかったコードの先端などは絶縁する



使用しないコードの先端など、被覆が無い部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。ショートにより火災、感電の原因となります。

シガーソケットが常時電源のタイプの車両に電源ケーブルを挿し続けない



エンジンキーを抜いてもシガーソケットから電源が供給される車種の場合は、本製品を使用しないときは必ず専用電源ケーブルをシガーソケットから抜いてください。バッテリーが上がる恐れがあります。



注意

強い衝撃を与えない



本製品は精密機器です。強い衝撃を与えないでください。故障・けが等の原因になる事があります。

極端な高温の場所に長時間放置しない



高温になる場所に長時間放置しないでください。故障・破損の恐れがあります。

電源コードを抜く時は、必ずプラグを持つ



感電、発火の原因になります

適合するシガープラグ以外で使用しない



付属のシガープラグがシガーソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災や感電の恐れがあります。

配線に負荷をかけない



車体やねじ、シートレールなど稼動部にはさまないでください。また、ドライバーなどの先端で配線を押しまないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因の可能性となります。

本製品をしっかりと固定できない所、振動の多い所などへの取り付けは避ける



衝撃を正しく感知できず、誤って作動することや、衝撃があっても録画できないことがあります。

配線ケーブル、信号ケーブルを傷つけない



配線や信号ケーブルについては、傷ついたり、引っ張ったり、折り曲げたりねじったり、加工したり、配線の上に重いものを置いたり熱器具や車両の高温になる場所に接触させるなど、しないように注意してください。火災や感電の恐れがあります。

急激な温度変化を与えない



本体への直火、ドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。

薬品類をかけない、薬品類の付いた手で触らない



ガソリンやエンジンオイル・洗剤類などの薬品が本製品に付着しないようにしてください。破損・変形、故障の原因になる事があります。

ホコリや振動が多い場所に本製品を長時間放置しない



ホコリや振動が多い場所に本製品を長時間放置しないでください。火災や感電の原因となる事があります。

雨が吹き込む所など水の掛かる所や、湿気・埃・油煙の多い所へ取付けない



本製品に水分や結露（エアコン風道周囲など）、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障となることがあります。

ルームミラーの操作を妨げる場所に設置しない



ルームミラーの調整に支障がないように設置してください。

定期的に点検を行う



本製品の取り付け状態など、定期的に点検してください。接着剤の剥れや、ネジの緩み等を確認してください。
吸盤ブラケットは、定期的に一旦取り外し、吸着部分をウェットティッシュ等で水拭きしてきれいにした後、再度取り付けてください。本製品が外れて視界や運転の妨げとなり、事故の原因となることがあります。

車検シールと重ならないように取り付けする



カメラは、車検シールと重ならないように取付位置を決めてください。トップシェード付きのフロントガラスに取付けると、色合いが異なって見えることがあります。

2. 使用上のご注意

- 本製品は、舗装された公道を走行する車両に取り付けて使用するものです。オフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や競技車両には使用出来ません。
- 本製品を車載用以外としては、使用しないでください。感電やけがの原因となる事があります。
- 真夏など炎天下では製品の温度が上がる事がありますので、やけどなどしないよう、取り扱いには注意してください。
- 車内に直射日光が差し込んだ場合、本製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転してください。
- LED 式信号機を録画した場合、本製品の特性から信号が点滅する録画となる事があります。この症状は、製品の故障ではありません。また、本件について弊社は一切の責任を負いません。
- カメラのレンズの汚れを取り除いた状態でご利用ください。レンズの汚れを拭き取る場合は、クリーニングクロス等を使い、傷がつかないように拭いてください。
- 本製品で録画した内容は、使用方法によって被写体のプライバシー等の権利を侵害する可能性があります。
- 本製品は、事故の発生自体を防止する装置ではありません。目的を正しく認識してご利用ください。
- 本製品は、衝撃を自動検知して映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録する事を保証したものではありません。※常時記録モードの場合は、全映像が録画されます。
- イベント録画モードにて、衝撃を検知せずに映像が記録されなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、条件によってはデータおよび映像の記録が出来ない場合があります。また、通信状態によりデータおよび映像の送信が出来ない場合があります。
- ドライブレコーダーの LED が全消灯した直後にエンジンをかける場合は、10 秒経ってからエンジンをかけてください。ドライブレコーダーの電源が正常に入らない場合があります。
- 本製品は、日本仕様です。海外ではご使用にならないでください。

3. 内容物の説明

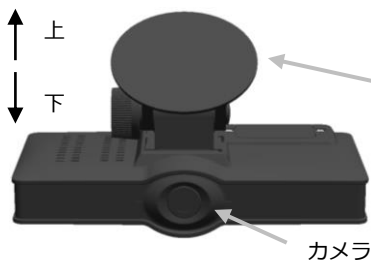
本製品には以下の物が含まれています。内容物に不足がある場合、販売店に連絡ください。

ER2 本体 1 台	電源ボックス 1 個		吸盤 1 個	専用 SD カード 1 枚	SD カードカバー 1 個
					
SD カードカバー 取り付けプラスネジ 2 個	SD カードカバー 取り付け特殊ネジ 2 個	クランプ 9 個	サブカメラ (オプション品)	ブラケット (オプション品)	取扱説明書
					本書

- 専用 SD カードは、販売店によってオプションとなっている場合があります。販売店にご確認ください。
- 電源ケーブルは、シガージャックタイプが標準となります。結線タイプをご希望の方は販売店にご確認ください。
- 車載機電源ケーブル部分は、サブカメラ有りタイプのみとなっています。サブカメラ無しタイプをご希望の方は販売店にご確認ください。

4. 各部の名称

● 正面



PWR (緑) : 起動 (電源 ON/OFF) 確認用

ドライブレコーダー起動中

ドライブレコーダー終了後

GPS (青) : GPS 測位/非測位確認用

GPS 測位中 (4 衛星以上、3D 測位)

GPS 非測位中 (上記以外)

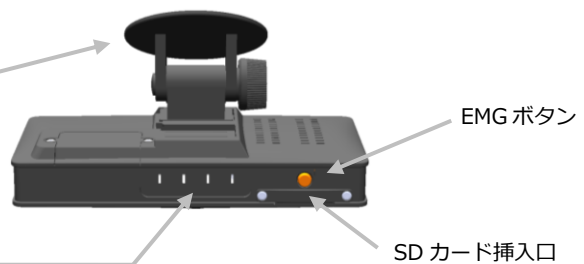
COM (橙) : 通信状態確認用

通信可能状態

データ送信中

通信不可状態

● 背面



ERR (赤) : エラー確認用

車載機設定ファイルなし時

通信エラー (サーバ通信失敗) 時

通信開始時

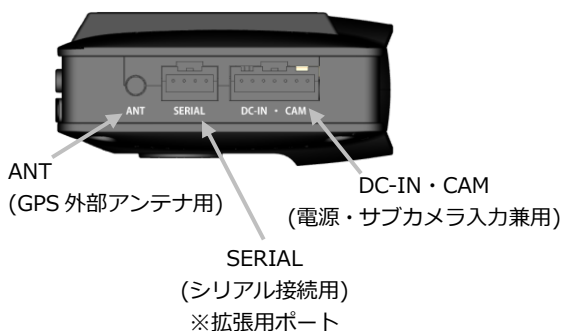
※点滅状態が最優先となります。

点滅から点灯・消灯状態にはなりません。

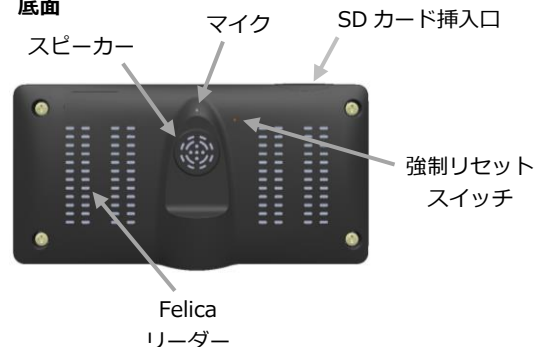
その他 電源投入時及び終了時 : 全 LED 点灯

ファームウェア更新中 : 全 LED 点滅

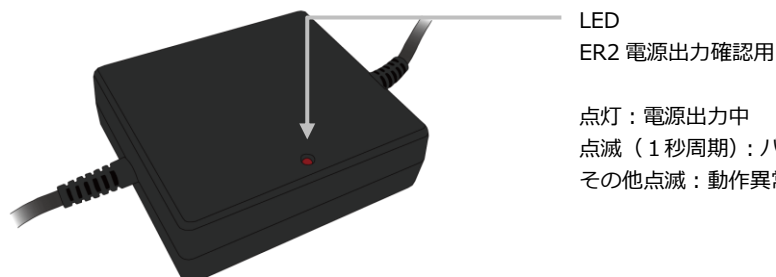
● 側面



● 底面



● 電源ボックス



5. 専用 SD カードの装着方法および注意点

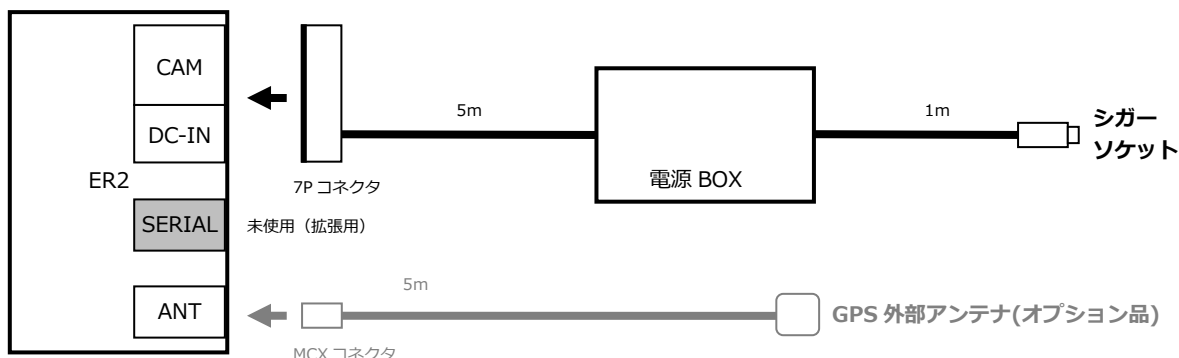
本体背面の SD カードスロットに専用 SD カードを挿入してください。専用 SD カードが、「カチッ」と入るまで押しこみます。

- SD カードは必ず同梱の指定製品を使用してください。映像が記録がされない場合が発生し、本体の損傷の原因になります。これらが原因で発生した損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品に専用 SD カードが確実に入っていない場合、専用 SD カードが損傷し、データが正しく記録されない原因になります。
- 電源が入った状態で専用 SD カードの抜き差しをしないでください。専用 SD カードや専用 SD カードに記録されたデータが破損する事があります。専用 SD カードの抜き差しは、必ず本製品の電源が入っていない状態で行ってください。
- 専用 SD カードを取り出す際は、本体の電源が切れている事を必ずご確認ください。専用 SD カードを一度押すと、自動的に専用 SD カードが少し引き出されます。その状態で専用 SD カードを取出してください。
- 本製品で使用する専用 SD カードを他の機器で使用しないでください。他の機器のデータが入っている SD カードを使用すると、本製品が誤動作を起こす可能性があります。また、本製品の専用 SD カードを他の機器で使用し、他の機器に損傷や不具合が発生しても、弊社は一切の責任を負いません。
- 専用 SD カードは消耗品です。エラー表示などにより使えなくなった場合は寿命と判断し、指定の製品と交換してご利用ください。また、安定した映像記録を実施するために、1 ヶ月に 1 度を目安として専用 SD カードを定期的にフォーマット(初期化)することを推奨いたします。
- 専用 SD カードのフォーマットを行う際は、「SD カードフォーマッター」で上書きフォーマットにて実施してください。また、バックアップが必要な場合は、予めパソコンなどにコピーして保存してください。

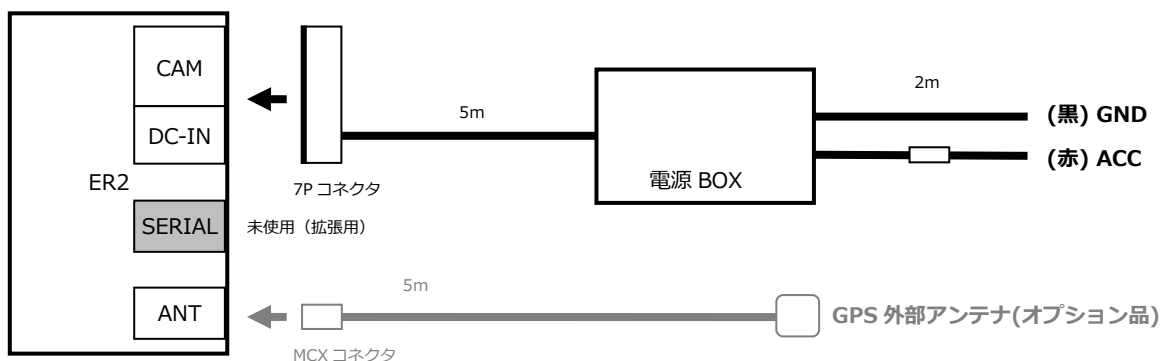
SD カードフォーマッター : https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/

6. 配線図と取り付け方法

✓ シガージャックタイプ電源

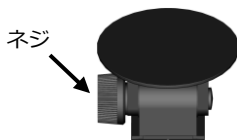


✓ 結線タイプ電源



- 取り付け前にフロントガラスの吸着部分の汚れをクリーナーなどで落としてから作業を行ってください。
- 専用 SD カードを抜き差しする際は、本体落下防止のため本製品に手を添えて行ってください。
- 本体の取り付け時は、エンジンが停止し本体の電源が切れている状態で作業を行ってください。
- コネクタを外すときは、必ずつまみを押して外してください。無理に引っ張ると故障の原因となります。
- 車種および本製品の電源ボックスの設置条件によっては、AM ラジオおよび FM ラジオにノイズが生じる可能性があります。本製品の設置の際には、ラジオ音声の受信状態をよく確認し、最適な位置に設置してください。
(特に、ラジオ機器との隣接、アンテナの近くに配置するとラジオ音声にノイズが生じることがあります。)

1. ブラケットのネジを緩めます。



2. ブラケットのシールを剥がし、フロントガラス上面、ルームミラー後方に貼り付けます。



注意

- フロントガラスに本製品を取り付ける位置は、国土交通省告示の保安基準にて、**フロントガラスの上部 20%以内の範囲**に取り付けする事が定められています。
 - 本体の取り付け時は、エンジンが停止し本体の電源が切れている状態で作業を行ってください。
3. 本体上面の溝にブラケットを挿入した後、本体をスライドさせ、本体の取り付け向きを決めた後、ブラケットと本体上面の接続部分のネジを回してしっかり固定します。
4. 車載機電源ケーブル（サブカメラ無し用）、または車載機電源ケーブル（サブカメラ付き用）の大きいコネクタを、本体側面の **DC-IN・CAM** に接続します。
5. 電源ケーブル（シガージャックタイプ）の場合はシガーソケットに挿入し、電源ケーブル（結線型タイプ）の場合は ACC（赤）および GND（黒）に接続します。

注意

- 電源は、12V/24V 車対応になります。
- シガージャックタイプの場合、シガーソケットからケーブルを抜き差しする際は、ケーブル部分ではなく**ヘッド部分**を持つ様にしてください。
- 電源ケーブル類は、視界や運転操作の妨げにならない様に、フロントガラス等のゴム縁に埋め込むか同梱品のケーブルクランプにて固定してください。

6. **(サブカメラを接続する場合のみ)** サブカメラを設置したい位置に貼り付け、車載機電源ケーブル先端のコネクタをサブカメラ本体横面のコネクタに挿入します。

7. 専用 SD カードを本体背面の SD カードスロットに挿入します。SD カードがカチッと入るまで奥に挿し込んでください。



注意

- 専用 SD カードの向きに注意してください。誤った向きで挿入すると本体や専用 SD カードが破損・故障する可能性があります。
 - 専用 SD カードを取り出す際は、一度専用 SD カードを手で押し込んで、カチッとなった所で手を離すと飛び出します。
 - 専用 SD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。電源が入った状態で抜き差しを行った場合、本体や専用 SD カードが破損・故障する可能性があります。
8. 車両にエンジンをかけます。4 色 LED が点灯し、その後 PWR のみ点灯すると、本体が起動します。
9. 車両が水平になっている状態で本体の **EMG ボタンを長押し（5 秒以上）** して加速度センサのゼロオフセット設定を実施してください。
※ゼロオフセット設定とは、本体の傾きの調整（補正）を意味します。

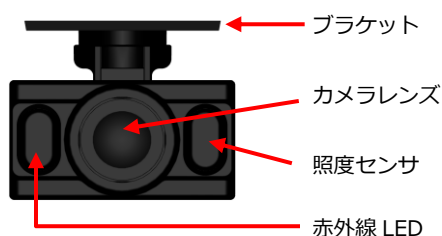
注意

- 車載機プログラムのバージョンによっては、加速度センサのゼロオフセット設定機能に対応していない事があります。
※Firmware-Version : 10.05 以降にて対応
- 加速度センサオフセット設定は、**必ず車両が水平になっている状態**で実施してください。車両が傾いている状態で実施すると、急挙動イベントを正確に取得できません。

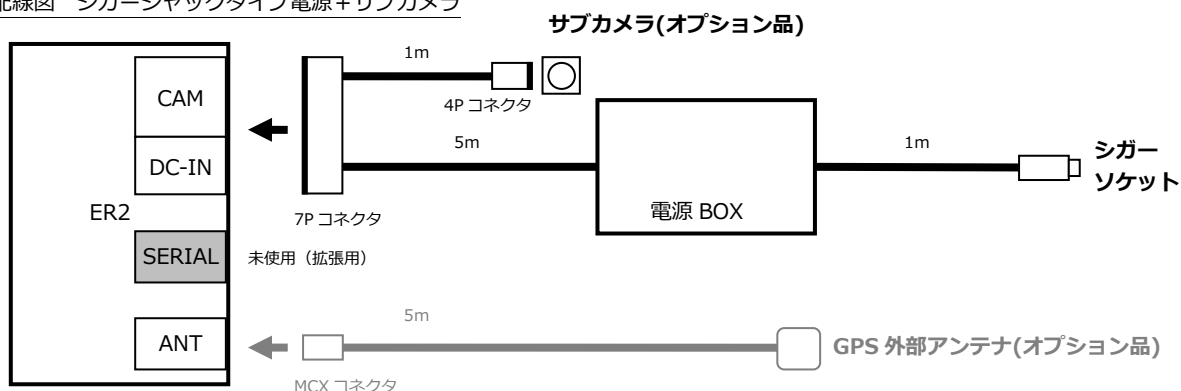
以上で取り付けは完了です。

7. サブカメラ (オプション) について

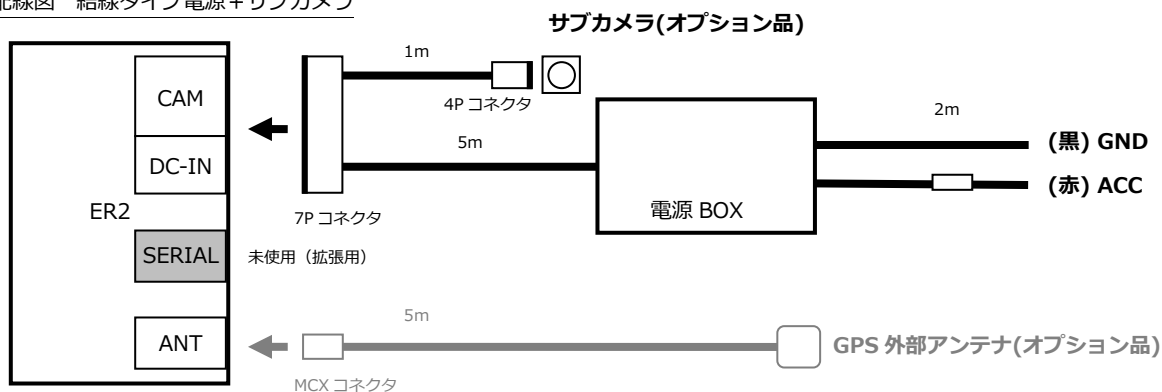
- ✓ 各部の名称



- ✓ 配線図 シガーjackタイプ電源+サブカメラ



- ✓ 配線図 結線タイプ電源+サブカメラ



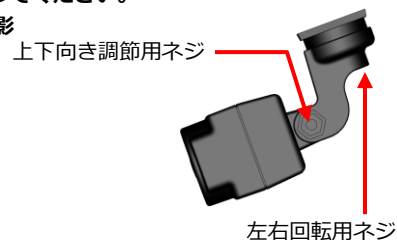
車載機電源ケーブル (サブカメラ付き用) を本体の **DC-IN** ・ **CAM** に接続します。

注意

- 必ず、本体の電源が切れている状態で、確実に奥まで接続してください。奥まで接続できていないまま、車両の電源を入れた (エンジンをかけた) 場合、故障する可能性があります。

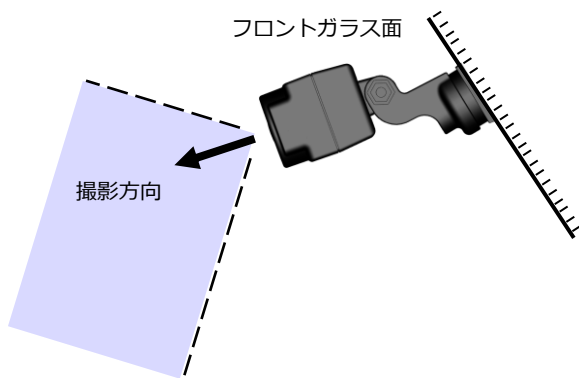
✓ 取り付け方法

- 取り付け前に取り付け箇所の吸着部分の汚れをクリーナーなどで落としてから作業を行ってください。
- 本体の取り付け時は、エンジンが停止し本体の電源が切れている状態で作業を行ってください。
- 取り付けブラケットを表面で取り付けするか、裏面で取り付けするかでカメラ撮影方向の可動範囲が異なります。
取り付け場所によって、適宜、カメラ本体とブラケットのネジをドライバーで外して調整してください。



✓ フロントガラスに取り付けて、車室内方向を撮影する

フロントガラスにサブカメラのブラケットを吸着します。

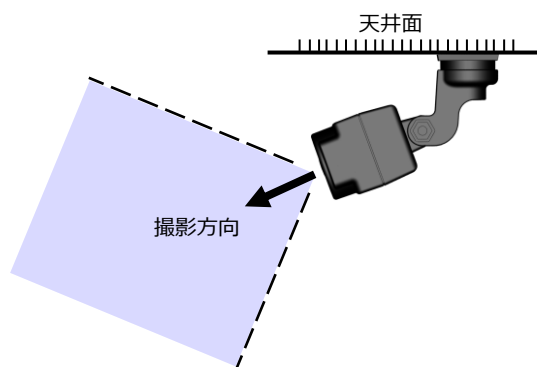


注意

- フロントガラスにサブカメラを取り付ける位置は、国土交通省告示の保安基準にて、**フロントガラスの上部 20%以内の範囲**に取り付けする事が定められています。
- カメラ本体は、必ず裏面シールの印刷面が下になる様に取り付けしてください。
- 撮影範囲は目安です。
- ケーブルは、視界や運転操作の妨げにならない様に、フロントガラス等のゴム縁に埋め込むか同梱品のケーブルクランプにて固定してください。

✓ 天井に取り付けて、車室内方向を撮影する

天井にサブカメラのブラケットを吸着します。
吸着が弱い場合は、付属のネジで固定してください。



以上で取り付けは完了です。

注意

サブカメラ（オプション）をフロントガラスに取り付け、車室内方向に設置する場合、必ず下記の注意書きを守って設置してください。下記の条件を満たしていない場合、自動車検査に合格しない可能性がありますのでご注意ください。

- ・ 前面ガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上のガラス開口部の実長の 20%以内の範囲内であること
- ・ サイドガラス（左右）やリアガラス（後方）を通して道路交通状況を確認出来ること
- ・ 運転者の視野の確保に支障がない位置に設置すること

8. 設定方法

本製品の設定の詳細については、販売店から告知されたクラウドサービスに掲載された「ヘルプ」をご参照ください。

9. データ閲覧の方法

本製品で録画したデータは、専用 SD カードに保存されるとともに、クラウドサーバへも送信されます。
データの閲覧は、販売店から告知されたクラウドサービスから所定のソフトウェアをダウンロードしてご利用ください。

10. 本体ボタンの操作方法



EMG ボタン

● EMG ボタン短押し

緊急通報/強制録画イベントが発生し、ブザー（ピンポン）で案内します。

● EMG ボタン長押し（5 秒以上）

加速度センサのゼロオフセット設定を実施します。

オフセット設定が完了するとブザー（ピーッピーッピーッ）で案内します。

※Firmware-Version：10.05 以降のみ対応

11. ドライバースカードの読み取り方法

Felica ドライバースカードを本体底面左に押し付けるようにして、本製品に読み取りさせてください。タイミングによって、5 秒程度掛かる場合があります。
読み取りが成功すると、設定により音声か電子音にてご案内します。



ドライバースカード

12. 動画記録時間

● HD 録画の場合

解像度	メイン (fps)	サブ (fps)	保存時間 (H)
HD 1280x720	30	30	7.6
	15		9.0
	5		12.6
	30	15	8.2
	15		10.0
	5		14.5
	30	5	9.0
	15		11.1
	5		17.1
	30	無し	10.6
	15		13.7
	5		23.9

● VGA 録画の場合

解像度	メイン (fps)	サブ (fps)	保存時間 (H)
VGA 640x400	30	30	14.9
	15		15.9
	5		18.4
	30	15	17.7
	15		19.1
	5		22.8
	30	5	21.7
	15		23.9
	5		29.9
	30	無し	34.1
	15		39.8
	5		59.7

- ・ 32GB の SDHC メモリカードを利用した場合での、各フレームレートの保存時間(最高画質設定時)の目安になります。
- ・ 撮影された映像によって、大幅に保存時間が異なる事があります。
- ・ サブカメラの解像度は、D1(720x480)固定です。

13. 故障かなと思ったら

現象	ご確認事項
本体に電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・ 電源ケーブルが本体の「DC-IN・CAM」に奥まで接続されているかご確認ください。・ シガーソケットまたは車両 ACC に電源ケーブルが奥まで接続されているかご確認ください。・ 電源ボックスの Output または Input にコネクタが奥まで接続されているかご確認ください。・ 電源ケーブル内部のヒューズが切れている可能性があります。販売店にご相談ください。・ 専用 SD カードの劣化等で正常に読み込み出来ずに起動できていない可能性があります。専用 SD カードをフォーマットして再度ご確認ください。
急挙動のイベントが大量に発生する	<ul style="list-style-type: none">・ 本製品が斜めに取り付けされていないかご確認ください。水平に取り付ける必要があります。・ ゼロオフセット設定を実施してください。

現象	ご確認事項
走行データが反映されない 「GPS が接続されていません」とアナウンスされる LED（青）が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 他機器の周辺に設置するとノイズや干渉によって GPS 電波の受信障害となる事があります。設置位置を他の場所にずらして GPS 測位ができるかご確認ください。改善されない場合は、ER2 専用外部 GPS アンテナ(別売オプション品)をご利用ください。 フロントガラス上面（天井付近）に設置すると天井の鉄板が GPS 電波の受信障害となる事があります。設置位置を下にずらして GPS 測位ができるかご確認ください。 受信状態や時間帯、米国防総省による故意の衛星精度の低下により測位できない場合があります。 GPS アンテナの近くで、自動車電話や携帯電話を使用している場合、一時的に GPS 衛星からの電波を受信出来なくなる場合があります。 電源 OFF を検出後、電源ボックスのバックアップ電源を使用して走行データをクラウドサーバへアップロードします。バックアップ電源は充電式のため、電源 ON 直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります、正常に成功データが反映されない場合があります。または、バックアップ内蔵バッテリーが弱っている可能性があります。
本体がフロントガラスから落ちることがある	<ul style="list-style-type: none"> 両面テープの粘着性が弱っている可能性があります。改善されない場合は、ER2 取り付け用両面テープアタッチメント(別売オプション品)をご購入ください。
Felica IC カードを読み取り出来ない	<ul style="list-style-type: none"> 読み取り完了するまで数秒掛かる場合があります。カードをかざした後に数秒間そのままにして読み取りが出来るかご確認ください。 ご利用の IC カードが本製品に対応していない可能性があります。Felica カードをご利用ください。
通信 LED（橙）が点灯されない	<ul style="list-style-type: none"> 電波状態が悪いか圏外である可能性があります。電波状態の良い場所にてご確認ください。
専用 SD カードが挿入できない	<ul style="list-style-type: none"> 専用 SD カードを表裏逆に挿入していないかご確認ください。
映像の映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> 前面カメラまたはサブカメラのレンズが汚れている可能性があります。レンズクリーナー等できれいに汚れを拭き取ってください。
専用 SD カードに動画が記録されない	<ul style="list-style-type: none"> 専用 SD カードが寿命である可能性があります。専用 SD カードをフォーマットして再度ご確認ください。それでも記録されない場合は、専用 SD カードを交換してください。 イベント録画モードになっている可能性があります。記録ボタンを押してイベントを発生させて記録されるかご確認ください。または、常時録画モードに設定を変更してご確認ください。
クラウドサービスに動画がアップロードされない	<ul style="list-style-type: none"> 専用 SD カードを挿入していない場合、クラウドサービスにも動画が記録されません。専用 SD カードを挿入してください。
メインカメラの映像が閲覧できない メインカメラの映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 振動等の影響によりメインカメラのコネクタが抜けている可能性があります。販売店にご相談ください。
サブカメラの映像が閲覧できない サブカメラの映像が真っ黒になっている	<ul style="list-style-type: none"> サブカメラのプラグが本体の「DC-IN・CAM」に奥まで接続されているかご確認ください。 本体およびサブカメラの電源が切れている状態でケーブルを抜き挿しして、再度電源を入れて映像が確認出来るかご確認ください。 入力電圧が不足している可能性があります。車両バッテリーの状態をご確認ください。 ケーブルが断線している可能性があります。販売店にご相談ください。
音声録音されない	<ul style="list-style-type: none"> クラウドサービス上の車載機設定にて、本製品の設定が録音無効になっていないかご確認ください。
スピーカーからの音量が小さい(または大きい)	<ul style="list-style-type: none"> クラウドサービス上の車載機設定にて、本製品の設定が音声出力の音量を調整してください。
本体の電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> 本製品はエンジン OFF を検知した後、電源ボックスのバックアップ電源により走行データや記録映像をサーバに送信する動作を行います。送信するデータが大きい場合には 5 分から 10 分くらい時間を要する場合があります。 シガーライターが ACC 電源供給ではなく常時電源供給の可能性があります。

14. よくある質問

Q. GPS 情報が途切れて取得される

A. GPS アンテナの感度を UP するために、アンテナプレートを使用することを推奨します。注意点として、GPS アンテナはアンテナプレートの中心に置く様にしてください。効果が少なくなる場合があります。

Q. GPS 測位までに時間がかかる

A. 取り付け直後、はじめてご使用になる時や長時間ご使用にならなかった時は、現在地を測位するまで 10 分～20 分程度要する場合があります。また、持ち運び等で大幅に移動した場合も同様に時間を要する場合があります。本製品では、受信衛星 4 機以上かつ 3D 測位状態の場合を有効測位状態としています。

Q. 地図上の使用していない地点に表示される。

A. 設定・出荷を実施した地点が表示されるようになっており、GPS 測位完了後に実際の位置で表示されるようになります。

Q. 実際の走行速度と異なる速度が記録される

A. 本製品では、GPS による速度記録を行っています。車両によっては、タイヤのアライメントやスリ減りにより記録される速度と実速度(衛星を使用した算出速度)が異なる場合があります。

Q. 映像に記録されている音声にノイズが入っている

A. 高性能マイクを使用しているため、タイヤノイズやロードノイズを拾っている場合があります。車両ボディの防音対策をする事でノイズが軽減される事があります。

Q. 少しの衝撃にも急挙動を検知してしまう

A. 設置されている車両に対して、設定感度が敏感すぎる可能性があります。出荷時設定では、一般的に最適と考えられる値に設定しています。クラウドサービス上の車載機設定にて、G センサ検出感度を調整してください。

Q. ボタンを連続して押しても一度しか反応しない

A. ダブルタッチなどの誤った操作を認識しないように、0.5 秒以内のボタン操作はキャンセルしています。

Q. 動画ビューア(VIEWCOOL)で開くとエラーが発生し閲覧できない

A. 録画した映像データが破損している可能性があります。頻発するようであれば、専用 SD カードをフォーマットしてください。
※VIEWCOOL とは、専用 SD カード内の動画やクラウドサービスにアップロードされた動画を見るための専用ビューアです。他社の動画ビューアでは、見ることはできませんのでご注意ください。

Q. 専用 SD カードの最大容量まで録画映像が記録できない

A. 機器最適化のため、映像の最大ファイル数は 5000 ファイルに制限しています。1 分毎のファイルを連続して記録しているため、記録している映像によっては小さいサイズのファイルが蓄積され、最大容量に達する前に 5000 ファイルに達する場合があります。また、最大容量もしくは最大ファイル数に達した時点で、常時録画ファイルの古いファイルから削除されていきます。※イベント録画ファイルは、優先的に残ります。

Q. サブカメラの映像が粗い

A. サブカメラの映像はアナログ入力のため、本体カメラのデジタル HD 映像と比べると、粗い映像に見えます。

15. アフターサービス

お問い合わせの前に、まずは本書でご確認ください。

「故障かなと思ったら」 「よくある質問」

ご不明な点や修理依頼・保守部品のお求めに関するお問い合わせは

販売元：株式会社フレクト

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-1-9 京橋北見ビル西館 3F

TEL050-6861-9011

受付時間 10:00~18:00 (土日、祝祭日、年末年始は除く)

※お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認の上お問い合わせください。

※電話番号等は、都合により変更する事がありますのでご了承ください。

製造元：エコモット株式会社

〒060-0031 北海道札幌市中央区北 1 条東 2 丁目 5-2 札幌泉第 1 ビル 1F

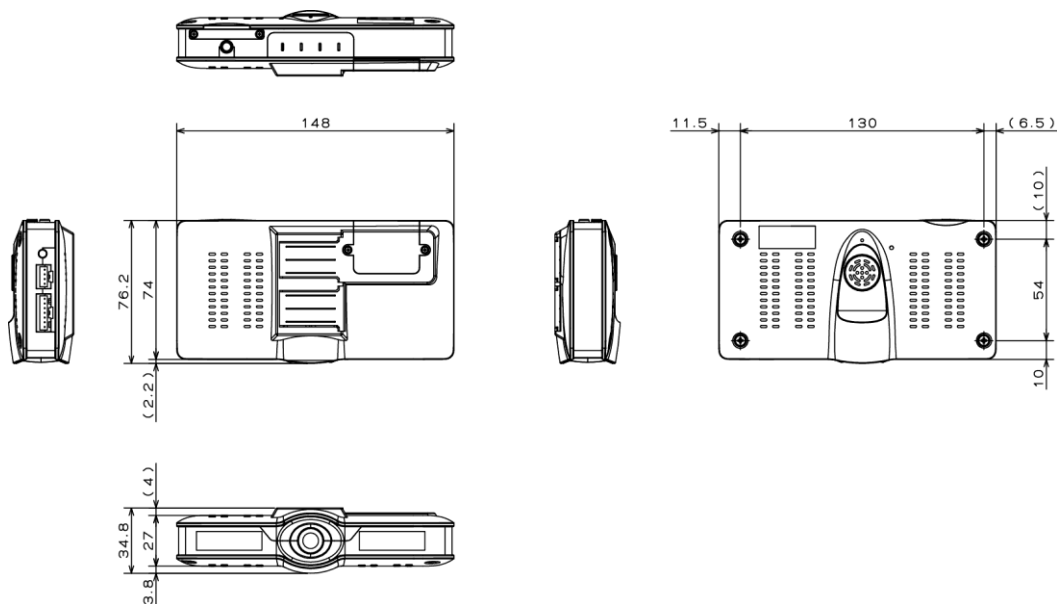
免責事項

- ✓ 自然災害（地震、洪水、落雷など）、火災、事故、第三者による行為その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ✓ 本製品の使用により生じた付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化、消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ✓ 本取扱説明書に記載された内容を守らなかったために生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ✓ 弊社が関与しない機器やソフトウェアと本製品を組合せて使用し、誤動作やハングアップなど起きた場合、そのことにより生じた損害に関して弊社は一切の責任を負いません。
- ✓ お客様自身、または権限知識のない第三者が修理、改善を行ったことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

16. 製品仕様・外形図

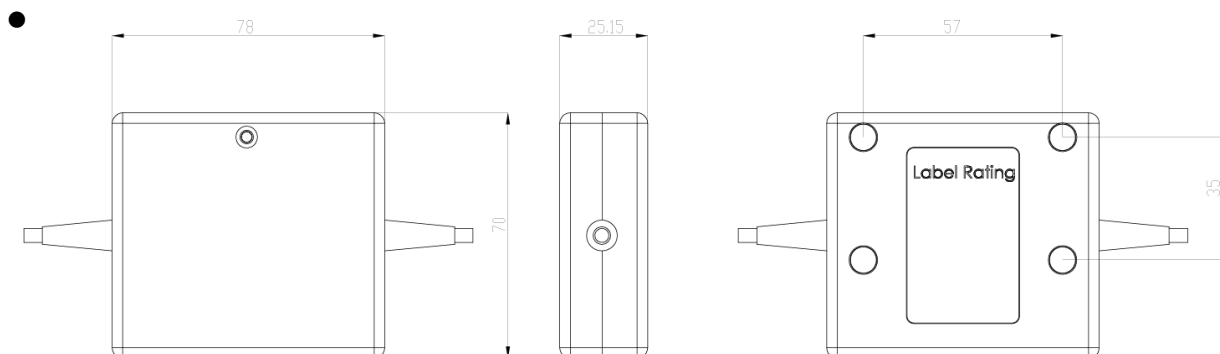
● 本体

品名	常時録画式 インテリジェント統合車載端末	
機種名	ER2	
電源入力電圧	12 V / 24 V 車対応	
消費電力	待受中 : 5.0 W / 伝送中 : 6.9 W	
動作温度	-20 ℃ ~ 70 ℃	
動作湿度	10 %RH ~ 90 %RH 結露なし	
保存温度	-25 ℃ ~ 75 ℃	
保存湿度	5 %RH ~ 95 %RH 結露なし	
電源入力	専用電源ケーブルにより取得 (5 V)	
音声入力/出力	高音質録音マイク内蔵 / 高音質スピーカー内蔵	
映像記録形式	暗号化ファイル (専用ビューア(VIEWCOOL or クラウドサービス)にて閲覧可能)	
カメラ撮像素子	100 万画素 1/3" WDR Image Sensor Color CMOS	
カメラ画角	HD(1280×720)	H108° D131° V82°
	VGA(640×400)	H108° D134° V88°
解像度	メインカメラ	HD(1280×720) または VGA(640×400)
	サブカメラ	D1(720×480)
フレームレート	メインカメラ	30/15/5 fps から選択
	サブカメラ	30/15/5 fps から選択
Felica	Felica IDm リーダー	
強制記録ボタン	1 スイッチ	
通信ユニット	LTE 通信モジュール内蔵	
GPS ユニット	GPS モジュール内蔵	
外形 (本体)	W 148 mm × D 76.2 mm × H 34.8 mm (突起部含む)	
重量	本体 : 172 g / ブラケット : 32 g	



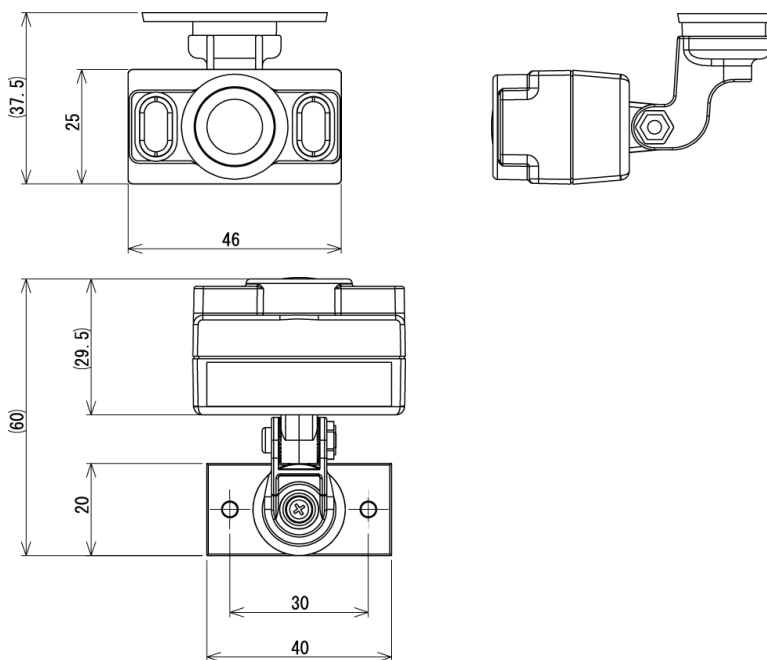
● 電源ボックス

品名	Smart Power Adapter (電源 BOX)
型番	HDL-PB-01 及び HDL-PB-02
入力電圧	9 V ~ 36 V
出力電圧	5 V ± 10 %
電池容量	1100 mAh LiFePO4 電池
動作温度	-20 ℃ ~ 70 ℃
動作湿度	10 %RH ~ 90 %RH 結露なし
保存温度	-25 ℃ ~ 75 ℃
保存湿度	5 %RH ~ 95 %RH 結露なし
外形	W 78 mm × D 70 mm × H 25.15 mm
重量	105g(ケーブル類含まず)



サブカメラ (オプション)

品名	ER2 専用 WDR デイナイトサブカメラ		
機種名	SC1A		
定格入力電圧	+6 V	同期方式	内部同期
入力電圧範囲	+6 V ~ +27 V	カメラ画角	H 112° D 149° V 85.2°
消費電力	1.5 W	シャッタータイプ	電気ローリングシャッター
動作温度	-30 °C ~ 85 °C	S/N 比	47.9 dB
動作湿度	10 %RH ~ 90 %RH 結露なし	感度	11.9V/Lux.Sec
保存温度	-40 °C ~ 90 °C	ビデオ出力	CVBS (NTSC) @27MHZ
保存湿度	5 %RH ~ 95 %RH 結露なし	フィルター	IR カットフィルター
イメージセンサ	Single chip 1/3" VGA WDR Image Sensor	外形 (本体)	W 45 mm × D 60.0 mm × H 37.5 mm (突起部含む)
イメージビュー	正像	重量 (本体)	33 g
総画素数	720(H) X 480(V)	-	-



17. 技術基準適合証明

通信 モジュール	技術基準適合自己確認 認証番号	工事設計 認証番号
AM Telecom AML570	D160027003	003-160044